

## 平成 29 年度東京都立杉並総合高等学校 経営報告

29 年度の教育活動の自己評価（以下、29 年度の目標・方策は簡略化して表示。）

## 1. 学習指導

目 標	方 策
基礎学力の習得と生涯を通じて学ぶ意欲と能力の育成 ①自宅学習 60 分以上 40%(1・2 年次)以上 ②未読率改善 10%以下 ③図書貸出冊数の増加 一人年間 3 冊以上 ④ICT 機器を活用した授業：10 教科で実施	①キャリアコアの育成とキャリアビジョンの実現という総合学科の目標を達成するための教育課程とキャリア教育の充実 ②自らの責任で主体的に学ぶ姿勢の育成 ③ICT 機器の効果的活用推進 ④教員の授業力向上 ⑤アクティブラーニングを活用した授業の推進
(自己評価) ① 60 分以上家庭学習をする生徒の割合は徐々に増加し 42%になっている。昨年同様、予習復習を前提とした授業の実施や、自宅学習確保に向けた年次の取り組みの成果が出た。今後は生徒自らが家庭学習の意義を見出し取り組ませる必要がある。 ② 一人当たりの図書の貸し出し冊数は毎年上昇しているが、依然未読率は 49.2%程度ある。図書館を利用する生徒としない生徒の差が激しい。 ④ I C T 機器を用いた授業は、ほぼ全教科で実施している。	(特記事項) ①早めに進路を明確にすることで学習に対する意欲を喚起した。SNS やゲームに割く時間減を呼びかける等の取り組みが成果を出している。 ②進路指導と連携した学習ガイダンスが充実してきた。 ③ICT 機器を活用した授業は、60%以上の教員が実施（授業観察により）。機器の確保が課題。教員による相互授業見学の実施 ④アクティブラーニングの授業はほぼすべての教科で実施をしている。また、授業研究も実施した。

## 2. 進路指導

目 標	方 策
最良の進路選択とその実現 ①進路相談への肯定的評価 85%以上 ②進路の第一志望達成率 85%以上 ③センター試験受験者数 110 名以上 ④MARCH 以上合格者数 10 人以上 ⑤産社・人間と社会・課題研究の肯定的評価 75%以上	①「産業社会と人間」「課題研究」「人間と社会」等のキャリア教育科目の充実と学校全体で取り組む体制の確立 ②キャリアガイダンス機能の向上
(自己評価) ① 進路指導への肯定的評価は、70%になった。地域の 10 団体を連携した体験活動を実施し、校内での発表会を実施した。多くの生徒が、地域で活動する団体について知り、生き方を知り、社会に貢献することを学び、キャリア教育の成果が上がった。 ②③進路希望調査を年 3 回実施し、自校作成の進路の手引きを使い全学年で進路ガイダンスを実施した結果、早めの進路希望先の決定につながった。年次ごとの創意工夫が創造効果を上げている。 ③ センター試験は 117 名が受験し、年々増加している。今年度は、慶応大学、立教大学、青山学院大学、法政大学、関西大学、電気通信大学等にも合格者を出した。 ⑤産社・人間と社会・課題研究の肯定的評価は 70%。「課題研究」発表会、「奉仕」発表会の発表レベルが上がっている。	(特記事項) ①②③④予習・復習ガイダンス、インターンシップ、職業体験、カタリバ、卒業生進路講演会、スタディーサポート、大学説明会、専門学校説明会等を実施した。杉総のキャリア教育を作成し、3 年間の流れを確実に踏襲できた。 地域の 10 団体を連携した体験活動を実施し、校内での発表会を実施。 長期休業中の講習、土曜講習の実施。 予備校による英語の土曜講習を年 20 回実施した。 12 月に課題研究発表会、3 月に社会と人間発表会を実施した。 ④予備校による土曜講習の成果が出ている。 ④ 内発表会の実施。

### 3.生活指導

目標	方策
①人として成長するための良い習慣付け ②健康で安心して生活できる環境の実現 ③学校行事の充実 ④部活動の充実	①学校全体で取り組む組織的な生活指導 ②体罰のない指導の徹底 ③環境意識と美化清掃意識の徹底 ④望ましい生活習慣の確立 ⑤防災・交通安全・薬物乱用防止・SNSの適切な利用、学校保健活動の充実 ⑥合唱祭・杉総祭・体育祭への取組強化 ⑦部活動の奨励・文化スポーツ等特別推薦の導入
(自己評価) ① 時間厳守や、挨拶・身だしなみ指導により生徒は落ち着きを持って生活している。クラス平均の遅刻者は1.28人に減少した。頭髪指導、服装指導については前年同様の成果をあげることが出来た。遅刻・頭髪指導は追指導を受ける者が大幅に減少した。 ② 自転車のマナーについては継続した指導が必要である。今年度は、苦情がほとんどなかったが、自転車等に係る保険支払総額 170 万円を超えた。今後も継続した指導が必要。 ③ 大行事である、文化祭、体育祭、合唱祭のほかに、外国語スピーチコンテスト、課題研究発表会や、産業社会と人間発表会を実施し、生徒は多くの体験を重ね成長につながった。 ④ 昨年通りの、文化スポーツ等特別推薦の枠の拡大で、都民、中学生、保護者に本校の姿勢を浸透させた。バドミントン団体女子は、関東大会出場、国公立大会初優勝。その他多くの部活動で表彰を受けた。学校全体として部活動が活気づいている。	(特記事項) ①②生徒指導件数は今年も少ない。全校生徒対象のSNSの使い方に関する講演会を行い、個人情報の扱いやインターネットの適切な利用について指導した。いじめについては12月に校内調査を行い、記載のあった事例を確認したが、特に問題となるものはなかった。消防署と連携した宿泊防災訓練の実施。交通安全教室を実施した。自転車事故は生命にかかわるので、継続して指導していく。 ③文化祭等で、ごみの減量化に取り組んだ。 ⑥文化祭、体育祭、合唱祭のほかに、外国語スピーチコンテスト、課題研究発表会や産業社会と人間、社会と人間の発表会を実施した。 ⑦全ての部活動が募集枠を満了した。2か所の外掲示板の活用。教員玄関の部活動掲示板の活用。部活動情報の積極的なHP掲載。文化スポーツ等特別推薦枠の拡大。

### 4.国際感覚と異文化理解の向上

目標	方策
①グローバル社会で活躍する人材の育成 ②第2外国語選択(中国語・韓国語)必修化の推進	①海外修学旅行による全生徒の海外交流体験 ②海外の高校生を招いての交流会の実施 ③異なる文化や価値観の理解 ④留学の派遣・受け入れの推進 ⑤韓国との姉妹校提携
(自己評価) 第4回の海外修学旅行として台湾修学旅行を実施し、全校生徒がパスポートを持ち海外を経験するという目標を実現した。 留学生の受け入れは、短期・長期を合わせて、6名を受け入れ、生徒が日常的に外国人の生徒と交流できる環境を拡大した。海外高校生(団体)の本校訪問の機会が3件。トビタテ留学ジャパンに私費参加も含めて10名。次世代リーダー育成道場で4名が留学した。校内選考には多くの生徒が申し込むなど、かなりの活性化がみられる。生徒及び入学してくる生徒の国際理解に関する関心は年々高くなっている。	(特記事項) ASIJ ミュージカル鑑賞、次世代リーダー留学生帰国、Do-nippon 米国高校生45名を受け入れ、米国・オーストラリア・フランス短期留学生受け入れ、次世代リーダー留学、トビタテ留学 Japan インドネシア等参加、日韓高校生交流事業団2名派遣、オーストラリア姉妹校 Fort Street 高校から19名短期留学。フランスコリブリ生徒1名短期留学生受入・本校生徒1名短期留学。総合学科発表会(トビタテ)、台湾修学旅行、日韓国高校生交流受入、東京外大文化祭見学、留学生が先生実施、スペイン短期留学3名、韓国姉妹校・美林女子情報高校10名交流受入、校内英語スピーチコンテスト実施 等

5.その他

目標	方策
①学校行事の充実・部活動の活性化 ②「体力の向上と健康作り」 心身の健康についての意識の向上 ③社会貢献意識の向上と保護者・地域社会との連携 ④防災意識の向上 ⑤総合学科に対する理解促進と中学生募集活動の推進 ⑥推薦・学力に基づく選抜の適正な実施	①生徒の自主性を重視した三大行事（合唱祭・杉総祭・体育祭）の一層の充実と部活動の奨励 ②学校保健計画に基づく保健教育・食育教育の充実 ③生徒会や部活動を中心とした地域行事への積極的な参加。ユネスコスクールとしてESD活動に参加（環境教育の充実、美化・清掃活動の活発化、地域の活動への積極的参加）、 ④防災教育の充実・防災マニュアルの充実、地域と連携した防災養育の実施 ⑤中学生向け体験授業の5教科実施、HPの充実 ⑥全教職員の組織的な取り組みによる推薦・学力に基づく選抜の適正な実施
（自己評価） ①②バドミントン部が関東大会出場。国公立大会初優勝、女子バスケット部ベスト16。女子サッカー部都ベスト8。部活動は大会成績が向上し、相乗効果で活性化している。 ③④東京都・杉並区の水道局や消防署と連携した活動を推進した。部活動や生徒会が中心となり、特別支援学校、ろう学校、杉並区立の中学校生徒との連携を深めた。地域のお祭り等にも参加し連携を深めた。 ⑤⑥推薦に基づく選抜の倍率は3.36倍、学力検査に基づく選抜は、1.64倍王倍率に上昇した。	（特記事項） ① ②3大行事に対する生徒の取り組み熱意は高い。杉総祭の来客者数は2735人に増加。来年度は3000人を超す来客者数を集めたい。生徒会による部活動紹介の充実。 ③④ユネスコスクールとして持続可能な教育をめざし実践している。体験活動の充実。 ⑤⑥校内・校外の広報用掲示板とHPを有効活用し、月1回以上の掲載更新をした。 ⑦文化スポーツ等特別推薦枠は全ての種目で定員を満たした。

6.学校経営・組織体制

目標	方策
<b>【学校経営・組織体制・地域連携 その他】</b> ①キャリア教育の実現を目指す体制の確立 ②愛校心の醸成 ③アクティブラーニング推進校としての研究推進 ④日本の伝統・文化教育推進校としての研究推進 ⑤オリンピック・パラリンピック教育の充実 ⑥保護者・地域との連携と開かれた学校作り	①教職員の人材育成、授業改善のための研修の充実。企画調整会議や委員会の充実。 ②部活動・学校行事の奨励・活発化及び挨拶と身だしなみを中心とした指導による自己肯定感の醸成 ③アクティブラーニング推進校としての組織的な研究・研修体制の確立 ④日本の伝統・文化教育推進校としての組織的な研究・研修体制の確立 ⑤講師の派遣を講演会の実施。 ⑥PTA・地域との交流の活発化、HP・杉総通信・掲示板等を活用した活発・積極的な情報発信、施設開放
（自己評価） ① 進路相談部のキャリア担当者が中心となって、ルーブリック評価を導入した。キャリア教育の組織的取り組みの強化につながる取り組みができた。 ③ 生徒会による学校案内のDVD動画を作成し、在校生にも見せて愛校心の醸成につなげた。 ⑥ 委員会を中心に推進活動を実施し、意識を高めた。 ⑥学校運営連絡協議会を3回、防災教育推進委員会を2回、PTA連絡会は年間6回実施し、開かれた学校づくりを推進した。	（特記事項） ① サクセスプランニング委員会で綿密な打合せを定期的に行った。 ②部活動の活性化のためにHPの活用や、教職員玄関掲示板を活用した。正門、上北門の掲示板活用PTAと同窓会の支援による横断幕の設置 ③外部講師を派遣してもらい全都に発信したアクティブラーニングの研究授業3回実施。 ④和太鼓部、日本の伝統文化部が地域活動に参加 ⑤大学教授等の講師による2回の講演会実施とお友達プロジェクトの5国の調査研究の実施。 ⑥企画調整会議、PTA連絡会等の実施

## 重点目標への取組と数値目標の結果

(重点目標は今年度の取組目標の中の最重要目標を取り上げて数値目標を設定したものです。)

### 1.学習指導：毎日60分の家庭学習の習慣化

数値目標	結果	(28年度)
(1) 授業以外の学習時間 60分以上 40%	42%	28.8%
(2) 未読率改善 (10%以下)	49.2%	4%
(3) 図書貸出冊数の増加 (一人年間3冊)	4.0冊	2,3冊
(4) ICT機器を活用した授業：10教科で実施	10教科	10教科

### 2.進路目標：生徒の第一志望の実現

数値目標	結果	(28年度)
(1) 進路相談への肯定的評価 85%	70%	86%
(2) 進路の第一志望達成率 85%	79%	84%
(3) センター試験受験者数 110名	117名	107名
(4) MARCH以上合格者数 10人以上	12名	5名
(5) 「産業社会と人間」「奉仕」「課題研究」の肯定的評価 70%以上	70%	73%

### 3.生活指導目標：挨拶と身だしなみの意識の徹底

数値目標	結果	(28年度)
(1) 遅刻率 1日平均 1.0人/クラス以下	1年次 0.7人 2年次 2.3人 3年次 0.9人	1年次 1.1人 2年次 0.7人 3年次 2.2人
(2) 文化祭の来場者数 2800人	2735名	2527名
(3) 体育祭への肯定的評価 85%以上	83%	84%
(4) 1・2年生の部活動参加率 90%以上	92%	87%
(5) 保健室の利用者数 延べ1500人以下	1292名	1330名
(6) 頭髪指導を受けた生徒の改善率 100%	100%	100%

### 4. その他

目標	結果	(28年度)
(1) 海外からの訪問者の積極的受け入れ 10件以上	8件 (留学生5名・ 団体3件)	13件
(2) 中進対志望倍率 1.4倍	1.43	1.36
(3) 東京都統一体力テスト 全国平均越え	東京都平均以上 全国平均以下	全国平均以下
(4) ホームページを更新回数 120回以上 ・全部活動学期に2回以上更新	130回	ほぼ毎週更新
(5) 杉総通信の毎月発行 (計10回)	10回	10回

以上